

ん、星さん、緒方さん、そして私・室井の8人で

初日は、金子議長の挨拶で始まり、東京清掃労働組合(以下、東京清掃)大和田中央副執行委員長の「高齢期職員の労働条件確立に向けて」の講演がありました。

定年延長と再任用義務化の違いや再任用期間の選択など、高齢期の雇用問題の話がありました。

まだまだ先の話ですが、自分が退職をする時にどうなっているのかまったく分からず、「何歳まで現役で働くのか?」「年金はどうなっているのか?」とても不安になりました。

講演の後はメインイベント(?)の夕食交流会です。夕食交流会は、本郷三丁目にある「はなの舞」で行われました。久しぶりに会う地連の仲間、そして職場の仲間とも沢山語り合い、酒を酌み交わし、楽しい時間を過ごしました。

二日目は「各支部報告」そして東京清掃・桐田書記次長から「職場か

らの運動・闘いについて」の問題提起がありました。

「各支部報告」で作業計画総括や、各区から厳しい現状が報告されるなか、文京支部における新規採用獲得に至る闘いを、文京支部・渡辺書記次長が報告しました。

東京清掃・桐田書記次長による「問題提起」では、「直営堅持、新規採用に向けて」の話があり、直営堅持と住民との共同作業の大切さを改めて感じました。

各支部報告および問題提起の後、全参加者によるフリートークに移りました。最初なかなか質問が出ませんでしたが、司会の東海林さんがとった質問者を指名するという方式により、最初固かった会場の雰囲気もほぐれてきて時折、雑談気味になりました。

自分から挙手して発言する人も現れ、例年になく活発な討論になったと思います。個別収集をしている区と、そうでない区の違いや、区境をめぐる収集上の問題など、興味

深い話もあり、思わぬ盛り上がりもありました。

とりわけ、「第二地連2012年度予算人員闘争(案)」の「まどめ」にあった「...風いだ海に文京支部が風を吹かせ、台東支部が船を走らせたのだ。さらに一組総支部は3年連続となる新規採用を勝ち取っている。この追い風に乗り、北・荒川も新規採用を得るため、闘いを強めていかなければならない」という言葉には勇気づけられた気がしました。そういう意味で、学習会に参加して良かったと思います。

最後に、金子議長の『団結がんばろう』で閉会しました。二日間を通して感じた事は、私たち公務員の厳しい現状についての認識、そして横の繋がりの大切さです。

久しぶりに見る仲間の顔は見たことある人ばかり、各区新規採用獲得に向け清掃事業の必要性を当局に働きかけ若い力を獲得し、より団結してこの厳しい情勢を乗り切りたいと思います。



台東支部

鈴木 信生

二年ぶりということ、随分久しぶりのような気がした宿泊学習会でした。

初日は「高齢期職員の労働条件確立に向けて」と題され、本部の大和田副委員長による講演。自分自身は、正直まだまだ先の話と感ずてしまいがちの問題ですが、現実には今年度や来年度に退職する仲間がいる以上、決して他人事ではなく、また今のうちに納得のいく形でこの問題に対処していかなければ、いざ二十数年後に自分の番になった時にあわてふためくことになる、との危機感を覚

えました。その為にこそ、このような学習の場が与えられていることを痛感し、また、ありがたいなとも思いました。

二日目の、本部の桐田書記次長による問題提起「直営堅持、新規採用に向けて」も、大いにながざかされました。直営を堅持するためには新規採用は不可欠で、また直営であればこそ高齢期まで安心して働き続けられる。初日の講演と良い意味でつながり、二人の講師による話が、我々の職場を守る“車の両輪”なのだと思われました。今回の学習会、これからも働き続ける、また、闘い続けるための良き糧となりました。



北支部

豊田 孝之

7月7日、8日と第二地連一泊学習会に参加して来ました。昨年は、震災の為、開催がありませんでしたが、私は今回が初めての参加となりました。

北区においても退職者不補充という事で十年以上新規採用がありません。今年、台東支部においても、10月以降新規採用があると聞きました。人員不足から車付雇上が我が支部でもある中、今後、



新規採用に向けた取り組みを強化していかなければなりません。
また、本部より大和田副委員長・桐田書記次長を招き高齢期職員の労働条件に向けての講演、年金問題など講義をして頂き、大変考えさせられました。今後、支部においても話し合っていかなければならない課題だと思います。

います。それに加え、他の支部との交流会でのいろいろな情報も共有できたいと思います。

荒川支部

豊田 浩史

第二地連一泊学習会に参加しました。各区における職場実態や清掃労働者を取り巻く情勢報告を含めて毎年ながら勉強し支部の組織強化にむけて参加しています。

今年の講演では「年金問題」と「高齢期職員の労働条件確立に向けて」を課題とした話を本部の大和田副委員長より講義を受けました。私自身はまだ30代なので、まだ先の話のようにとらえてしまいう部分もありましたが、定年延長と再任用義務化の大きな違いについて考えさせられる部分が多々ありました。その問題に基づき高齢期職員の職のあり方についても真剣に考えていく必要があることを知りました。人員確保が重要な課題であり、欠員にならないよう

支部の取り組みが最も大事な事だと痛感しました。

問題提起では本部の桐田書記次長より「職場からの運動・闘いについて」提起をいただきました。各区における清掃事業を直営で残していく必要性を柱に直営堅持に向けた取り組みの課題・強化の必要性を学び、支部としての組織強化という点で土台をしっかりと作り上げ新規採用獲得に向けての取り組みにつなげていくことの役割を学びました。

二日間を通じて感じたことは、私たち組合員にとって安心して働ける職場環境・労働条件の維持・向上までもが奪われようとしている中で、課題は多々ありますが、職場における情報の共有化と各区における粘り強い交渉の強化が必要不可欠であることを改めて感じました。
これからも全組合員・全支部が一带となり本部に結集できる組織づくりを目指し頑張っていきたいと思えます。

